

GeoMationを用いた

# 農業情報管理地図システム

## システム導入のメリット

地理情報と圃場情報<sup>ほじょう</sup>、農家情報、土壌分析情報を統合管理し、営農計画支援ができます。

地図を利用することにより、農作物の作付状況のビジュアル化ができます。  
誰にでもわかりやすく把握でき、農業経営を支援します。

圃場に対して、作付作物の情報、耕作者情報、病害虫発生情報、堆肥散布情報、及び土壌情報を登録して、営農計画策定のための多角的分析ができます。

### < 圃場管理 >

作物による色分表示により、作付状況をビジュアル化して管理できます。

### < 営農計画支援 >

広域地図を利用して、全体を俯瞰しながら、作付作物の分布が把握できます。さらに、作付面積を集計し、グラフ表示できます。

### < 農業経営支援 >

農家情報の管理がビジュアル化されます。農家台帳と地図の関連づけができ、組合員の詳細な情報管理を効率良く行なえます。

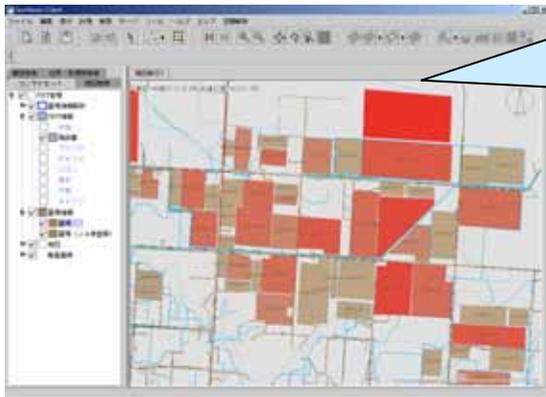
### < 農家への情報発信 >

Webでの利用も可能です。各組合員に最新の農業情報を配信することができ、組合員とのコミュニケーションを活性化します。

GeoMationは“IT農業”を支援します  
営農計画・農業経営に役立つGISです

## 作付作物の経年管理ができます

過去数年間の作付状況を保存しておき、地図上に表示させることができます。これにより、同じ圃場への同じ作物の連作を防ぐための管理がしやすくなります。



連作された圃場が色の濃淡で強調表示されるため、連作の状況を地図上で視覚的に把握することができます。

圃場をクリックして過去の作付状況を参照できます。

## 土壌情報を視覚的に把握できます

圃場に対する土壌分析結果を地図に反映して、視覚的に捉えることができます。



土壌分析結果を反映して圃場を色分け表示することにより、土壌の状態を視覚的にとらえることができます。

### システム構成

GeoMation Server . . . 地理情報システムサーバー  
GeoMation Client . . . 地理情報システムクライアント  
または GeoMation Web Option . . . 地理情報システム Web オプション (Webの場合)  
GeoMation 農業情報管理パッケージ  
DBMS:DB2/Oracle/SQL Server/HiRDB

## 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

\* お問い合わせ先

### GIS部システムグループ

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号 (日立ソフトタワーA)

TEL (03)5780-2111 (大代表) (03) 5780-2095

担当: 山形 (011) 746-5865

E-mail:gis@ika.hitachi-sk.co.jp

日立ソフトウェアネットホームページ <http://www.hitachi-sk.co.jp/Products/GIS/>

その他、記載の製品名は各社の商標または登録商標です。

製品仕様は、改良のため予告無く変更することがあります。画面ははめ込み合成ですので、実際の画面と異なることがあります。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規則をご確認のうえ、必要な手続きをお取り下さい。なお、ご不明な場合は弊社担当営業にお問い合わせ下さい。